

令和7年度 調布市見守りネットワーク事業関係団体連携会議

□グループワークごとの意見交換内容

【テーマ】

地域包括支援センターの活動と地域との関わりについて

【内容】

- ・見守り活動に関して、従業員教育と警察と連携した振り込め詐欺対策をしている。警察や消防などと連携して、従業員教育見守り活動を行っている。
- ・独自の見守り活動を行い、連絡が取れない場合は、緊急連絡先(かつ地域包括支援センター)に連絡するように取り組んでいる
- ・地域のイベントなどに参加し、清掃活動などを行っている。
- ・業務で高齢者の自宅を訪問した際に、異変を感じた場合は声をかけている。また、車の移動時に座り込んでいる方がいた場合は声をかけるようにしている。
- ・関連会社が高齢者と関わっているが、報告はない。今後、連携して情報共有したい。
- ・詐欺の疑いがあり、本人に何度も説明しても理解をしてもらえないため、警察に通報した。
- ・窓口に来店している気になる高齢者がいるが、どの程度個人情報を使ってよいか判断に迷う。
- ・料金未納など気になる方はいるが、どの方を通報した方が良いかわからない。
- ・地域で防犯パトロールをしてくれている方向けの“防犯パトロールにおける着眼点のレクチャー”等行っている。
- ・インターネットやアプリでの特殊詐欺被害予防に向けた取り組みをおこなっている。
- ・調布市も含めて、他市でも協定を結び、高齢者の見守り活動を行っている。

【参加団体の感想】

- ・各協定団体の取組を知る機会になり，大変参考になった
- ・地域包括支援センターの取組や内容を知ることができた
- ・会社全体に情報が届いていないため，情報共有の方法を検討したい。
- ・地域住民を支えるために，出前講座や従業員への講座などを検討したい。

【その他】

地域包括支援センターでは，心配に思う方がいた場合に，当センターへの相談を促す「各地域包括支援センターの連絡先等を記載した名刺サイズのカード」を作成しています。ご希望の協定団体様は高齢者支援室までご連絡をお願いします。後日，担当地区の地域包括支援センター職員がお渡しにまいります。

※使用方法 □各団体様で支援が必要と思われた場合 □お客様該当の方の住所地の担当地区の地域包括支援センターのカードをお渡しいただき□「お困りのことがあれば□なんでも相談にのってくれます。」とお伝えください